

# 明日へ

発行：2017.2.10

2017 第 4 号

発行：中川町職員労働組合青年婦人部

(教宣担当班 下村・菊田)

2017 政治・平和学習会  
2017 スプリングフォーラム

参加報告 黄木 創

2月4・5日に開催された「政治・平和学習会」「スプリングフォーラム」に参加してまいりました。両集会について、様々な産別の方が集まるので面白いと聞いていたので、是非参加したいと思っておりました。その中でも印象的であった講演、分散会で挙げられた仲間の声について報告と感想を記述します。

## ○初日

「政治・平和学習会」では、荒井聰衆議院議員による『私たちにとっての政治とは』と題した講演がありました。

講演はまず、医療的ケア児（医ケア児）についてのお話から始まりました。医ケア児とは、医療の発達により生ま

れた、日常的に医療的ケアを必要とする新しいタイプの障がい児とも言えます。しかし、医療的依存度が高いにもかかわらず補助金の認定時には43年前に重心児認定のためにつくられた評価基準に照らし合わせられており適切な支援が行われていませんでした。そんな状況が、障害者総合支援法の改正により、「医療的ケア児」という言葉が記載されたことで、支援の手が行き届くようになったという話でした。法律をたった一行変えるだけで私たちの生活が大きく変わる。ということをお話を聞いて、政治の身近さを感じました。

荒井衆議はJR北海道問題にも触れました。「全長約300kmの線路の約半分が廃止になるという事は、従業員も半分でよくなる。」「JRに乗る努力をするべき。」という言葉を聞き、初めて、利用者側の立場でなく労働者側の立場からこの問題を考えさせられました。名寄以北に住む私たちにとても大きな問題であるにもかかわらず、不満ばかり口にして、協力して何か行動を起こそうとしていなかったことに反省もしました。特に自治体はイベントを企画するなどして協力体制を取りやすいはずですが。

## ○分散会

JR北海道問題について、実際にJRで働いている方からお話が聞けました。JRにも正社員と非

正規社員がいて格差があること、組合離れが進んでいること等貴重な話でした。最近高校がJRへの就職を反対するため、若手が入ってこないという実態もあるそうなので、かなり深刻だと感じました。

中川はほとんどの職員が組合に加入していますが、そういった環境は組合員としての意識が低下するのが弱点なのかもしれません。そうだけでなく、多くの産別で意識の低下問題を抱えているようです。「組織力は個人力の総和です。」と、齋藤勉連合北海道副事務局長がおっしゃっていました。確かにその通りだと思います。ただ、注意しなければいけないのは個人力とは即ちその人の負担する、あるいは、してきた量ともいえ、そのため内訳に偏りがあってはいけないという点でしょう。残念ながら私たち青年婦人部は偏りが大きく、平等ではありません。新体制となつてからは、その是正のために各個努力しているところではあります。組合活動においてはスペシャリストではなく、シエネフリストであるべきだと考えます。その実現のために、私たちにはもっと足並みのそろった学習が必要です。

以上が、集会に参加した報告と感想です。やらなくてはいけない事が多いですが、やれる事が沢山あるとも言えます。共にがんばりましょう。

## 異業種交流会に参加

2月2日異業種交流会に参加しました。

異業種交流会には、ながわ育造会や町商工青年部、林業青年部、農業青年部、小中学校の先生、町職労青婦部などから約40名があつまり、青婦部からは、佐藤・熊谷・黄木・菊田・下村の5名で参加しました。

参加すること知り合いも増え、人見知りな青婦部員にも多くのナカガワの友達ができました。



アラナとケンシロウの英会話教室を日本語でPRする菊田副部長。このときすでにほろ酔いの副部長は、最後になぜか「大和魂!!!」と叫びました。



旗開きでも披露した恋ダンスでブレイク中の黄木くん。毎朝の日課として恋ダンスを練習しているようです。継続は力なりですね。今回は、恋ダンスを披露する場面がなくちょっと悔しそうでした。



佐藤事務局長は、鍋奉行とし女子力を発揮し、人見知りな熊谷事務局次長は、中川産ハスカップワインを注ぎ、場を盛り上げてくれました。次長はたぶん、味は濃いめが好きなんだろうね。

17年度、教宣紙第4号となりました。

わたしが1年目の頃、「集会に参加したら、ちゃんと報告して、共有しなきゃいけないよ。」と言われたことをふと思い出しました。

報告もあまりできていなかったと今になって反省です。思ひ出ほろぼろ。。。

余白ができたので・・・言葉つながりで。

先日、ラジオで「言ってみたい漫画の一言」というコーナーがありました。

「ドラえもん」でのび太がしずかちゃんにさよならを告げる決心する話で、ムシスカンという道具が登場する回です。

のび太は将来しずかちゃんと結婚すると不幸にしてしまうと思い、出木杉にすべてをたくして、ムシスカン（飲むと不愉快放射能がでる・・・今は自主規制かな）を10粒も飲んでしまいます。

母もドラえもんも離れていく中、しずかちゃんだけがのび太を助けようとして、結果助けます。

のび太がしずかちゃんに「心配してくれたの？」と聞くと「当たり前でしょ!!お友達だもの。あなたは弱虫よ!!先生にしかられたくらいで」と怒られてしまいます。

そして、最後に、のび太は「しずかちゃんに嫌われるのは、今度にするよ」という名言を残すわけです。素敵ですね。・・・メインは表面ですので笑